

石川県西部緑地公園陸上競技場の平成19年度管理状況

施設所管課	教育委員会 スポーツ健康課
指定管理者	(財)石川県民ふれあい公社 理事長 栗原正一
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 接客・電話応対等には不快感を与えないよう親切的な接遇により受付を行う <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者より塗装の剥がれ等の意見や苦情を管理担当者が聞き入れ、修繕等を実施している。 ご意見箱を設置し、利用者の声を聞けるようにした。 <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内唯一の第1種公認陸上競技場に相応しい施設の管理に努めている。 毎年のJリーグサッカーの開催に相応しいピッチ等の整備に努めている。 スムーズな陸上大会の運営や競技進行に協力するため、用具の整備や準備等を行っている。
利用の促進に関する業務	<p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓口に施設空き状況及び個人利用の可能な日がわかるように、2ヶ月間の行事予定を掲示 ホームページに、西部緑地公園内の産業展示館及び県立野球場と共に2ヶ月間の行事予定を掲載 各競技団体等と連絡を取り、空き状況等をお知らせするなど施設利用を促進 関西地方の大学や旅行代理店に資料を提供し、大学の合宿等に利用してもらえるよう広告を行う
使用の許可に関する業務	<p>使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用許可の件数((2)参照) 使用料の収入実績((3)参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃：職員が日頃より場内の美化に努めており、廊下やトイレの清掃などは日々行っている。スタンドは主催者に大会等終了時の清掃をお願いしている。</p> <p>保守点検：電光掲示板・電子機器・合併処理施設・機械設備等の保守点検や管理業務は高い専門知識を持つ業者に外部委託している。</p> <p>警備：外部委託を行い、西部緑地公園内全ての施設を包括的に実施している。</p> <p>小規模修繕：ゲートシャッター修繕、メインポール修繕など</p>

(その他知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・危機管理マニュアルを策定し、防災訓練を実施している。 個人情報の管理状況 ・基本協定(個人情報の取扱いに係る特記事項)に基づき、管理している
------------------	---

(2) 施設の利用状況

利用指標((設定している場合)利用人数、稼働率などの数値目標)

指標	H18年度 (参考)	H19年度	前年度比	増減理由
施設利用者数(人)	89,292	100,281	112.3%	専用利用者の増 (北信越高校総体陸上競技大会等)

使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
陸上競技場等 (個人)	23,981	0	
陸上競技場等 (専用)	40	0	
会議室	13	0	

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
個人使用	1,858 千円		
陸上競技場専用	1,210 千円		
補助競技場専用	221 千円		
会議室	66 千円		
電光掲示板	520 千円		
夜間照明	632 千円		

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	48,215	人件費	14,795
		光熱水費	5,667
		修繕費	1,879
		施設管理委託料	22,448
		競技関係消耗品	1,250
		事務消耗品等	878
		その他	890
合計	48,215	合計	47,807
収支差額	408		

(5) その他、県が必要と認める事項 (管理の実態を把握するために必要な事項)
利用者からの苦情、要望

年月	内容	対応
平成 1 9 年 5 月	3000m 障害用ハードルの塗装が剥がれている。	塗装修理を実施
平成 1 9 年 9 月	ダッグアウト天井及び壁の塗装が剥がれている。	塗装修繕を実施
平成 2 0 年 3 月	Jリーグサッカーにおいて、選手スタッフ用ベンチの席数が足りない。	2 席追加して等間隔にする修理を 2 基分実施

事故、故障等

特になし

その他報告事項など

特になし

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見 (工夫、改善点)
サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意見を直接聞き入れ、早急な修繕等を実施するなどの管理運営に活かすことでサービスの質を向上させている。 ・陸上競技に精通した職員を配置し、競技運営に協力している。 ・各競技団体等と連絡を取り合い、多くの施設利用を促したことや関西地方の大学の合宿等に利用してもらえよう利用促進を図るなど専用利用の増に繋がっている。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技に関する専門的知識や経験を活かし、仕様書等に基づき適切な施設管理等が行われている。
適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な職員の配置がなされており、業務に関する研修等が十分になされている。 ・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。
その他、必要と認める事項 (例 : 苦情処理、個人情報保護)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報については基本協定に基づき、適切な管理が行われている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技の競技力向上や県民がより陸上競技に親しみやすい環境づくりに基づいた管理運営がなされている。

評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を上回っている
- B（良）：仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C（可）：仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D（不可）：改善が必要である

（ 7 ）助言・指摘事項

特になし